

## 1. 内政

・14日、ティモフティ大統領は、社会党、自由民主党、共産党、民主党及び自由党の議会各会派代表と首班指名に向けた協議、及び、自由民主党が首相候補に推薦したガブリチ「モルドセル」社元代表との協議を実施。「ガ」元代表は、2008～12年は「モルドセル」社(携帯電話・通信企業)代表、2012年以降はアゼルバイジャン「アゼルセル」社(同左)代表等を務めたビジネス界の人物。フィラト自由民主党党首は、ガブリチ元代表が議会において十分な支持を得て新内閣が早期に発足することに期待する旨発言。ルプ民主党党首は、民主党はガブリチ元代表を支持する旨発言。一方、ギンプ自由党党首は、自由民主党、民主党及び自由党の連立与党が成立した場合にのみ、自由党はガブリチ元代表を支持する旨発言。

・14日、ティモフティ大統領は、ガブリチ元代表を首班に指名する大統領令に署名。

・18日、ガブリチ首相候補(自由民主党推薦)が議会に提出した閣僚名簿及び政府行動計画案が、議会議員101名中60名(自由民主党・民主党・共産党の大半が賛成、社会党・自由党は反対)の賛成をもって承認され、ガブリチ新内閣が成立した。ガブリチ首相は、新内閣の優先課題は欧州統合路線の継続である旨発言。承認された新閣僚は以下のとおり。

- ーキリル・ガブリチ首相(新任)
- ーヴィクトル・オシポフ副首相(再統合担当)(再任)
- ーステファン・クリストフ・ブリード副首相兼経済相(新任)
- ーナタリア・ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相(留任)

- ーアナトール・アラブ財務相(留任)
- ーヴラディミール・グロス司法相(新任)
- ーオレグ・バラン内相(新任)
- ーヴィオレル・チボタル国防相(新任)
- ーヴァシレ・ピトカ地域発展・建設相(新任)
- ーイオン・スラ農業・食品産業相(新任)
- ーヴァシレ・ボトナリ運輸・交通インフラ相(留任)
- ーセルジウ・パリホヴィチ環境相(新任)
- ーマイア・サンドゥ教育相(留任)
- ーモニカ・バブク文化相(留任)
- ールクサンダ・グラヴァン労働・社会保障・家族相(新任)
- ーミルチャ・ブガ保健相(新任)
- ーパヴェル・フィリプIT・通信相(留任)
- ーセルゲイ・アフアナセンコ青年・スポーツ相(新任)

・20日、ナルイシュキン露国家院議長は、同日、ドドン社会党党首及びヴラフ・ガガウズ自治区首長選挙候補と会談した旨発表し、モルドバ議会に同国のユーラシア統合を支持する議員グループを形成することを歓迎する旨発言。

## 2. 経済

・17日、ドレグツァヌ中央銀行総裁は、国内通貨レイの価値下落に伴い、政策金利を8.5%から13.5%まで引き上げることを決定した旨発言。レイの価値下落の原因として、ロシアの不況によるロシアからのルーブル建て送金額の減少、輸出額の減少などを指摘。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)